



獅子島ウォーク 2019

たわわに実ったみかん畑を横に歩を進める参加者

島民一体で参加者をおもてなし

2月3日、獅子島の七郎山山頂を折り返す13^{キロ}の「獅子島ウォーク2019」が開催され、あいにくの雨となりましたが、540人の参加者が獅子島を満喫しました。

当日は朝から参加者が諸浦港や水俣港、中田港から定期船や貸切船などで続々と獅子島に上陸しました。このほか、前日から島内の民宿に宿泊して大会に臨んだ参加者もいるなど、島内がにぎわいました。

コース発着点の獅子島アイランドセンター周辺では、みかんの詰め放題や海産物など獅子島の特産品を販売する出店が立ち並び、活気があふれていました。

オープニングでは、獅子島小中学校の児童生徒による太鼓の演奏が披露され、午前10時にスタート。参加者は七郎山の山頂を目指しました。

中継地点では、地元ボランティアからポンカンや飴が手渡され、参加者は疲れた体を癒していました。

宮崎県小林市から夫婦で参加した下湯幸浩氏さんと美也子さんは「島民一丸となったおもてなしに感動した。また、明日からも仕事をがんばれる」と笑顔がこぼれていました。



↑中継地点でポンカンを手にとりリフレッシュ



↑参加者をうならせた児童らによる和太鼓演奏



↑濃霧が立ち込めたコースでも笑顔で楽しむ参加者



↑ゴール後は獅子島の特産品が当たる抽選会